

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 ディービーエックス株式会社

コード番号 3079 URL <http://www.dvx.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 若林 誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員
管理本部長兼経理部長

(氏名) 魚住 洋二

TEL 03-5985-6827

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	15,075	13.5	698	33.2	689	30.6	375	61.7
23年3月期第3四半期	13,280	15.0	524	13.6	527	6.1	231	△15.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	133.03	—
23年3月期第3四半期	82.26	—

(注)当社は平成23年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	8,499	2,831	33.3
23年3月期	7,719	2,521	32.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 2,831百万円 23年3月期 2,521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	43.00	43.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	26.00	26.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は平成23年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。平成23年3月期の期末配当金につきましては、当該株式分割前の実績を記載しております。

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,227	12.4	793	1.7	788	0.5	417	16.8	147.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	2,820,000 株	23年3月期	2,820,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	619 株	23年3月期	514 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	2,819,472 株	23年3月期3Q	2,819,526 株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成23年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(株式分割について)

当社は、平成23年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による国内経済の停滞に回復傾向が見受けられたものの、欧米金融市場の信用不安等による世界景気の停滞や、歴史的な円高や株価の低迷、タイ洪水等の影響により、依然として景気の先行きは不透明な状況となっております。

医療機器業界におきましては、経営改善に努める医療機関等取引先からの販売価格引き下げ要求は依然として高く、また、平成24年4月には医療費抑制を目的とした特定保険医療材料の保険償還価格の引き下げも実施される予定であり、医療機器業界をとりまく経営環境は依然として厳しい状況にあります。

このような情勢のもと、当社では、経営の効率化、西日本エリアでの不整脈事業の販路の拡大、メーカーとの連携強化、社内教育体制の充実等、より競争力のある企業体制の構築、企業価値の向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は15,075,160千円（前年同期比13.5%増）、営業利益698,249千円（前年同期比33.2%増）、経常利益689,006千円（前年同期比30.6%増）、四半期純利益375,074千円（前年同期比61.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①不整脈事業

西日本エリアでの新規顧客獲得を目指すとともに、既存顧客に対する付加価値の高い提案型営業を行う販売体制の構築に注力した結果、心臓ペースメーカ、植込み型除細動器（ICD）や電極カテーテル等の主力商品が販売数量を伸ばし、当第3四半期累計期間の不整脈事業の売上高は12,165,160千円（前年同期比11.5%増）、セグメント利益は1,739,135千円（前年同期比3.4%増）となりました。

②虚血事業

静岡エリアをはじめ新規顧客の獲得による販路拡大に注力した結果、バルーンカテーテル等が販売数量を伸ばし、当第3四半期累計期間の虚血事業の売上高は2,354,204千円（前年同期比10.6%増）、セグメント利益は914,293千円（前年同期比9.1%増）となりました。

③その他

当第3四半期累計期間のその他の売上高は555,794千円（前年同期比129.9%増）、セグメント利益は55,510千円（前年同期比85.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ757,904千円増加し、7,923,108千円となりました。これは主に売上の増加にともない受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ21,385千円増加し、575,920千円となりました。これは主に投資有価証券が増加したことによるものであります。

これらの結果、当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ779,289千円増加し、8,499,028千円となりました。

（負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ430,490千円増加し、5,357,407千円となりました。これは主に売上の増加に対応した仕入の増加にともない買掛金が増加したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ38,762千円増加し、309,630千円となりました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

これらの結果、当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ469,252千円増加し、5,667,037千円となりました。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ310,037千円増加し、2,831,991千円となりました。これは主に利益剰余金が剰余金の配当により減少した一方で、四半期純利益の計上により増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は33.3%（前事業年度末は32.7%）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期の業績予想につきましては、平成23年11月9日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」における業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用

第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。この適用により、当第3四半期会計期間に行った株式分割は、前事業年度の期首に行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第3四半期累計期間の1株当たり四半期純利益は、以下のとおりであります。

1株当たり四半期純利益金額	164円52銭
---------------	---------

なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年 3 月 31 日)	当第 3 四半期会計期間 (平成23年12月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,083,963	2,149,901
受取手形及び売掛金	4,351,969	4,991,512
商品	601,715	631,690
繰延税金資産	61,656	64,971
その他	67,298	86,631
貸倒引当金	△1,400	△1,600
流動資産合計	7,165,203	7,923,108
固定資産		
有形固定資産	215,851	212,845
無形固定資産	61,876	71,192
投資その他の資産		
投資有価証券	61,863	98,010
差入保証金	101,385	93,978
繰延税金資産	104,283	88,569
その他	36,226	36,661
貸倒引当金	△26,952	△25,337
投資その他の資産合計	276,806	291,882
固定資産合計	554,535	575,920
資産合計	7,719,739	8,499,028
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,263,342	4,700,950
短期借入金	100,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	187,331	143,085
未払法人税等	129,000	168,500
賞与引当金	90,608	22,360
売上値引引当金	—	59,979
その他	156,635	212,531
流動負債合計	4,926,917	5,357,407
固定負債		
長期借入金	102,636	127,972
退職給付引当金	96,540	108,249
役員退職慰労引当金	56,218	60,556
その他	15,472	12,852
固定負債合計	270,867	309,630
負債合計	5,197,785	5,667,037

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年 3 月31日)	当第 3 四半期会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	344, 457	344, 457
資本剰余金	314, 730	314, 730
利益剰余金	1, 863, 787	2, 178, 242
自己株式	△437	△547
株主資本合計	2, 522, 537	2, 836, 883
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△583	△4, 892
評価・換算差額等合計	△583	△4, 892
純資産合計	2, 521, 953	2, 831, 991
負債純資産合計	7, 719, 739	8, 499, 028

(2) 四半期損益計算書
(第 3 四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第 3 四半期累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
売上高	13,280,220	15,075,160
売上原価	10,730,695	12,366,221
売上総利益	2,549,525	2,708,939
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	790,268	770,070
賞与引当金繰入額	23,392	22,360
役員退職慰労引当金繰入額	4,737	4,837
退職給付費用	18,223	16,293
その他	1,188,571	1,197,128
販売費及び一般管理費合計	2,025,194	2,010,690
営業利益	524,330	698,249
営業外収益		
為替差益	7,230	—
その他	1,642	507
営業外収益合計	8,873	507
営業外費用		
支払利息	4,582	3,100
為替差損	—	5,448
貸倒損失	1,079	—
その他	—	1,200
営業外費用合計	5,662	9,749
経常利益	527,542	689,006
特別利益		
貸倒引当金戻入額	302	—
固定資産売却益	—	2,221
債務免除益	10,931	—
特別利益合計	11,234	2,221
特別損失		
固定資産除却損	37	597
減損損失	16,390	—
関係会社株式評価損	119,319	—
貸倒引当金繰入額	22,506	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,125	—
その他	—	104
特別損失合計	159,379	701
税引前四半期純利益	379,396	690,527
法人税、住民税及び事業税	252,065	303,069
法人税等調整額	△104,607	12,383
法人税等合計	147,458	315,452
四半期純利益	231,938	375,074

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。